

シリコンバレービジネス拠点の名称が「Japan Innovation Campus」に決定 ～オフィスメンバー及びコワーキングメンバーの計 52 社が決定～

森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長 辻慎吾)が、経済産業省より受託した「海外における起業家等育成プログラムの実施・拠点の創設事業」の一環として開設した、米国・シリコンバレー(パロアルト市)のビジネス拠点(以下、当拠点)の名称が「Japan Innovation Campus」に決定しました。また、スタートアップ計 52 社のオフィスメンバー及びコワーキングメンバーが決定しました。

開業に先立ち、2023年11月12日にオープニングセレモニーを開催しました。セレモニーには、西村経済産業大臣の他、現地のスタートアップ・エコシステムを中心とする関係者約 70 名が参加しました。また、11月17日、APEC 首脳会議出席のためサンフランシスコを訪問中の岸田文雄内閣総理大臣と尹錫悦(ユン・ソンニョル)韓国大統領がスタンフォード大学を訪問され、Japan Innovation Campus センター長(内定者)も日韓スタートアップ企業関係者として車座に参加いたしました。



11/12 施設名称を発表する西村経済産業大臣



11/12 オープニングセレモニー参加者



11/17 日韓スタートアップ企業関係者との車座に参加する
当施設センター長(内定者)
(尹錫悦韓国大統領の右隣/写真提供:内閣広報室)



11/17 日韓スタートアップ企業関係者との車座の様子

当社は、引き続き、多様なプレーヤーが集い、対話し、共創する「場」と「仕掛け」づくりを推進し、国際都市・東京の磁力向上に貢献してまいります。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室

TEL: 03-6406-6606 FAX: 03-6406-9306 E-mail: koho@mori.co.jp

施設名称に込められた3つの意味

この拠点がシリコンバレーの人々に受け入れられ、エコシステムに溶けこみ、同じ志をもつ日本や世界の起業家やその関係者たちが集い、イノベーションを起こしていくことへの期待を込めて、この施設を「Japan Innovation Campus」と命名しました。

公式 Web サイト

jp-innovation-campus.org/ja

本拠点への入居者及びコワーキングスペース利用社について

本拠点の個室の利用者(オフィスメンバー)5 社、コワーキングスペースの利用者(コワーキングメンバー)47 社の詳細につきましては以下をご参照ください。

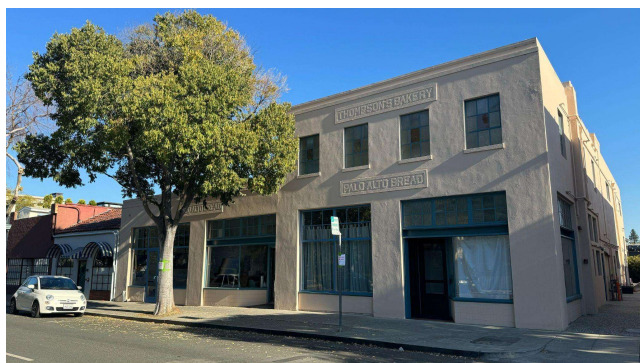
オフィスメンバーはこちら <https://www.meti.go.jp/press/2023/11/20231114002/20231114002-ar.pdf>

コワーキングメンバーはこちら <https://www.meti.go.jp/press/2023/11/20231114002/20231114002-br.pdf>

日本のスタートアップの海外進出を強力に後押し

当拠点が位置するシリコンバレーのパロアルト市は、最先端 IT の研究拠点であるスタンフォード大学やベンチャーキャピタルが集積するサンドヒルロードとも近く、また他国のインキュベーション施設も集積しているエリアです。

当拠点では、経済産業省が進める人材派遣プログラム「J-StarX」開催場所の1つとなり、日本の起業家や学生等を受け入れると共に、現地のアクセラレーターやベンチャーキャピタル等の民間企業、世界トップクラスの大学・学術機関、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)等の行政機関を含む産学官で連携し、日本のスタートアップの海外進出とエコシステムの成長・発展を強力に後押しします。また、日米のスタートアップ、企業、投資家の交流機会を創出するなど、日米双方向のオープンイノベーションの実現を目指します。



Japan Innovation Campus 外観



Event/Open Space
イベント/オープンスペース: 30-50人程度



Co-working Space
コワーキングスペース: 40 席程度



Kitchen Space
入居者のコミュニケーションの場にも

【参考①】虎ノ門ヒルズのインキュベーションセンター「ARCH」における実績を評価

当社は、「国際新都心・グローバルビジネスセンター」の形成を目指す虎ノ門ヒルズで、大企業の新規事業創出を支援するインキュベーションセンター「ARCH」を2020年より運営しています。「ARCH」にはコミュニティ・マネージャーが常駐し、交流イベントや起業家を招いたセミナー(年230回以上)や、事業創出に向けたマッチング支援(年360件以上)などを通じて、イノベーション創出のための「場」と「仕掛け」を提供。開設からわずか3年で、大企業約120社・約900名に加えて、会員の大企業に限らずスタートアップや自治体も巻き込んだスタートアップコミュニティへと成長を遂げています。

加えて、虎ノ門ヒルズ ビジネスタワーには、世界最大のイノベーションコミュニティ「CIC TOKYO」が開設。CICには既に280社を超える企業が参画し、毎日様々なイベントを実施しており、国内最大規模のスタートアップコミュニティになっています。「ARCH」と「CIC」との間でも、コミュニケーションやコラボレーションを促進することで、様々な相乗効果を発揮しています。

新たに創設されるシリコンバレービジネス拠点では、コミュニティ・マネージャー等を配置し、日本のスタートアップと、海外の企業や投資家とのネットワーキングを活発に推進することが求められており、このたびの事業受託においては、「ARCH」における当社の実績が評価されると共に、シリコンバレーのビジネス拠点と「ARCH」の連携による相乗効果も期待されています。

【参考②】「虎ノ門ヒルズ」におけるイノベーション創出に向けた「場」と「仕掛け」

森ビルは、イノベーション創出に向けた様々な「場」と「仕掛け」によって、「国際新都心・グローバルビジネスセンター」へと拡大・進化を続ける虎ノ門ヒルズの街を舞台に、スタートアップ・エコシステムの形成を推進しています。

大企業の新規事業に特化した「ARCH」(虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー)

大企業の新規事業創出に特化したインキュベーション施設として、2020年4月に誕生。約120社・約900名が参画(2023年3月現在)。豊富なリソースやネットワークを持つ大企業ならではの可能性と課題にフォーカスし、新規事業創出部門の「出島」としてワークスペースのほか、事業創出に必要な知識やマインドセットを獲得するスクール、イノベーションを創出するためのネットワーキング、豊富な経験・専門的な知見を有するメンターによる様々な課題の解決のサポートなどのサービスを提供しています。



世界最大のイノベーションコミュニティ「CIC」(虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー)

マサチューセッツ工科大学(MIT)の卒業生であるティム・ロウ氏とアンドリュー・オルムステッド氏が設立したスタートアップ企業の集積拠点。米ボストン・ケンブリッジ、マイアミ、蘭ロッテルダム等、世界9都市に拠点を構え、これまでにCICを利用した企業は6,000社を数えます。2020年10月にアジア初の拠点として誕生した「CIC Tokyo」には、事業創発を目指すスタートアップ企業や大企業、自治体などジャンルを超えた約280の団体(2023年8月現在)が集い、イノベーションによる社会変革や地方創生に向けて活動をしています。



世界に向けた情報発信拠点「TOKYO NODE」(虎ノ門ヒルズ ステーションタワー)

「ステーションタワー」の最上部に誕生する、約10,000㎡の新たな情報発信拠点。ビジネス、アート、エンターテインメント、テクノロジー、ファッションなど、従来型の領域やジャンルにとらわれず、様々なコラボレーションを促進することによって、新たな体験や価値、コンテンツや情報などを創出し、広く世界に向けて発信することを目指しています。また、「TOKYO NODE LAB」を舞台に、業種や領域を超えた一流の才能や、イノベティブな企業11社が集結。「クリエイティブエコシステム構築に向けた共同プロジェクト」が既に始動しています。



©DBOX for Mori Building Co., Ltd.